

トーキングロード
嘶家人生 山あり、谷あり

〔第59回〕

鷺とり

✦ 文 林家希林

text by Kirin Hayashiya ✦

落語家としていろいろなお仕事をさせていただく機会が増えました。最近やらせて頂いたお仕事で印象に残るのは11月1日にやらせていただいた愛宕警察署の一日警察署長。新橋のSL前広場で演説をいたしました。こんな名誉のあるお仕事をやらせていただけるなんてとても幸せなこと。今回は特殊詐欺撲滅のキャンペーンで一日警察署長をやったのですが、このお仕事をやるにあたりいろいろ詐欺について教えていただきました。

詐欺の件数は昨年より少しだけ減っているものの被害額は昨年より増えているという現状。オレオレ詐欺や振り込め詐欺以外に最近はサポート詐欺というのが流行って増えているそうです。詐欺の対策としては、知らない番号は無視して、知らないURLなどは開かないのが一番。少しでも怪しいなと思ったら家族や知人、または警察の方に相談してくださいとのことでした。

これは個人の意見ですが、日本は詐欺に対しての処罰が軽すぎると思います。刑が軽いのが故に再犯率も高く、詐欺師はまた詐欺をします。もっともっと詐欺には厳しくする必要がありますが、もっと感じます。このだまされた人たち

のお金も、詐欺グループの手に渡らず、仮に全額自己投資に回っていけば日本の景気も少しは良くなるかもしれませんね。

というわけで、今回は「サギ」にまつわる落語をご紹介します。

ある男は金儲けに雀を取る算段をご隠居に話す。みりんにつけた米粒を庭に撒き、それを食べた雀は酔っぱらう。そこに用意していた南京豆を撒くと「ちようどよい枕」とみんな昼寝を始めるからそこをほうきとちりとりで捕獲して売るといふ。「それでうまくいったのか？」と隠居が聞くと、「南京豆を撒いたらその音に驚いて逃げられた」と話す。男は次に不忍池にいる鷺さぎを捕まえると言ふ。鷺は用心深いのご隠居は言うが、男は秘策(?)があると、夜中の不忍池へ繰り出す。

秘策(?)のおかげか鷺の不用心か、寝ている鷺を大量にゲット。しかし、「入れ物」を用意してこなかった為、自分の帯に気絶している鷺の首をねじ込んでいく。揚々と帰路に就く男。じきに夜明けとなり、目が覚めた鷺が一斉に羽ばたくと男の体は宙に浮かびます。

予想だにしない結末が待っている「鷺とり」。是非お聴きください！

真打昇進襲名披露興行

浅草演芸ホール

10月中席(昼の部)(11時40分~)トリ11日(水)、17日(火)、20日(金)

池袋演芸場

10月下席(昼の部)(13時~)トリ22日(日)、24日(火)

国立演芸場主催

2月(昼の部)(13時~) 9日(金)トリ10日(土)

ご予約は、「チケットぴあ」まで。 <https://t.pia.jp/>

profile

1989年東京浅草生まれ。父は元大関・清國勝雄。

2009年林家木久扇に入門

2013年二ツ目昇進。

2023年9月下席より真打昇進。林家木りんから「希林」に改名。身長192cmと、落語協会一の高身長!

趣味は相撲、野球、読書、競馬、マラソン、空港見学。

空港についてエッセイ、コラムを書くほどの空港マニア。

初の著書『師匠!』発売中

